令和６年度　事業計画

本会の活動目的

教育活動に貢献する研究団体かつ職能団体として、新しい時代の学校事務を担う事務職員の果たす役割を追究し、研究活動の推進を図るとともに、会員相互の資質能力の向上を目指す。

中期的活動目標

社会の変化に伴い大きな変革を求められている学校教育において、私たち事務職員は、新しい環境に柔軟に対応できる思考力や対応力をさらに備える必要があります。また、近年は地域とともにある学校づくりのために「学校の組織力強化」が求められており、学校組織の一員である事務職員の専門性を生かした関わりがより重要となっています。

このことから、本会では次の２点を中期的な活動目標と捉えて活動を進めていきます。

＊ **第２次茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～（令和４～７年度）の基本計画の一つである「新しい人財育成」を推進する環境づくりのために、茨城県教育委員会が推進する「すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり」に向けて貢献する事務職員の在り方について研究する。**

＊ **「第Ⅲ期　学校事務グランドデザイン～いばらき未来づくり～」（令和３～７年度）に示したキャリア形成イメージの具現化を図り、生き生きとした学校づくりに積極的に関わる事務職員を育成する。**

研究活動の柱

Ⅰ.しくみづくり	Ⅱ.ひとづくり	Ⅲ.ちいきづくり
マネジメント力の強化	研修プログラムの充実	共同実施組織 （共同学校事務室）の推進

本年度の重点目標

Ⅰ　**新しい時代に対応するサステナブル（持続可能）な組織化を目指し、より機能的なものにするためにあらゆる経営資源をマネジメントする。**

Ⅱ　**事務職員の人材育成（リーダー育成・若手支援）及び資質向上を目指した各種研修会を企画・運営し、研修プログラムの活用と充実化を図る。**

Ⅲ　**県内各地域における共同実施の実情把握を進めるとともに、共同実施組織（共同学校事務室）の在り方について検討する。**

目標達成のための活動

○ 役員会・事務局
- 第Ⅲ期学校事務グランドデザイン評価委員会の企画・運営をする。
- 校長会や教育関係諸団体との連携を強化する。
- 未加入者の加入を促進し、組織の拡充を図る。

○ 研究部
- 第57回関東地区学校事務研究大会千葉大会での提案発表に向けて研究を進める。
- 共同学校事務室の具体的な在り方を追究する。

○ 研修部
- 研修プログラムを活用した研修を企画する。
- 会員の資質向上を図るための研修を企画運営する。

○ 調査部
- 全事研依頼調査を実施し、結果の分析を行う。
- 実情調査等を行い、学校事務に関する課題を調査する。

○ 広報部
- 年間約10回の会報紙をタイムリーに発行する。
- ホームページを活用した広報活動を推進する。

○ 特別委員会(IBASYS)
- 県下統一したシステムや様式、資料等を集約し利活用を促進する。
- 共同実施組織の事務機能強化及び効率化、会員の資質向上を図るツールを提供する。